

# 感覚環境の街作りについて

## 背景

高度経済成長期における第一期の街作りは「量」を中心とし、「質」の観点不足  
五感喪失の無機的な街の形成



今後は五感を活かした「質」も重視の街作りが必要



高度経済成長期に形成された街の更新時期を捉え、  
熱、光、かおり、音といった人間の五感感覚の切り口からの街作りにより  
良好な生活環境を確保

## 感覚環境の街作りの検討・展開(概要)

昨年度、「環境の街作り検討会」(座長:鈴木基之)を設けて検討

昨年12月に報告書をまとめ公表

- (基本的な考え方)・近年更新の機会を捉えた「環境ニーズの実現」
- ・街作りに感覚環境のデザインセンスを入れ込む
- ・問題対応型ではなく環境設計型の対応
- ・環境主導・住民主導の街作り

## 音環境に関する現状

騒音発生源と住宅が接近・混在 → 街づくりに音環境デザインの視点をを入れていくことが必要

1964年



2003年

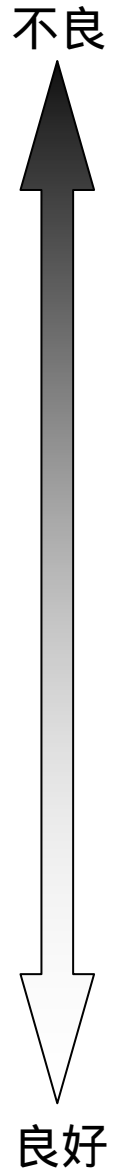


新幹線沿線の変化

# 音環境に配慮した街作り

## < 音環境の分類 >

## < 音環境のデザイン >



健康影響や生活環境  
阻害が発生している

### 【従来型の騒音対策】

法的規制、施設・機械・自動車等の低騒音化 等

健康影響や生活環境  
阻害が発生するレベル

### 【騒音との住み分けに配慮した街作り】

【騒音領域での住宅等の建設を抑制する街作り】  
類型指定の見直し  
経済的手法(騒音地役権、地価への影響評価)  
緩衝地、情報公開(音発生状況公開) 等

特に問題が生じていない

### 【騒音発生源の進入を防止する街作り】

住宅地を中心においた街の設計、  
地下を利用したインフラ整備、騒音ラベリング、  
バッファビル 等

優れた音環境

### 【よい音が聞こえる環境の街作り】

情報公開(音環境マップ)、診断と評価(自己  
診断等)、人材育成(専門家、アマチュアレベル  
の人材育成)、環境教育(良好な音環境の体  
験) 等

## 騒音発生源の侵入を防止する街作り



アムステルダムにおける  
交通騒音マップ

## よい音が聞こえる 環境の街作り



残したい“日本の  
音風景100選”